

(新)カーボン・オフセット推進事業

50百万円(0百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

1. 事業の概要

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動などにおいて排出されるCO₂について、

- (1) できるだけ排出が少なくなるように削減する努力を行い、
- (2) 削減努力をしてもなお避けることができないCO₂の排出量を見積り、
- (3) 排出量に見合ったCO₂の削減活動に投資することなどにより、日常生活や経済活動などにおいて排出されるCO₂を埋め合わせするという考え方である。

21世紀環境立国戦略(平成19年6月閣議決定)において、「国民による取組の展開」として、カーボン・オフセットのあり方の検討を行うこととしている。

このため、カーボン・オフセットのあり方の検討を行うとともに、カーボン・オフセットの具体的な取組を促進・支援するための事業を実施するもの。

2. 事業計画

カーボン・オフセットの対象となる排出量のモニタリング・算定・検証基準、京都メカニズムクレジット以外の排出削減量を対象とする場合の認証基準などについて検討を行う。

我が国におけるカーボン・オフセットの取組を促進するため、モデル事業を選定し、イベント等の開催に伴う排出量の算定、オフセットの手法等についての知見を収集し、カーボン・オフセットの事業スキームの構築に当たっての問題点等を整理する。

3. 施策の効果

カーボン・オフセットの取組は、事業者、市民、政府など様々な主体の自主的な取組を促進・強化することとなり、特に、家庭・業務部門の取組を進展させ、京都議定書の目標達成に資することとなる。

4. 備考

調査費 50百万円

(内訳)・カーボン・オフセットの推進等に関する調査 50百万円

カーボン・オフセット推進事業

カーボン・オフセットとは



様々な主体によるカーボン・オフセットの取組の促進を通じた取組の推進

京都議定書目標達成に貢献

(例) 2006年FIFAワールドカップドイツ大会

削減努力

- < エネルギー >
太陽光発電や風力発電などの自然エネルギーを使用
省エネ型照明の導入
- < 水 >
グラウンドへの散水に雨水や井戸水を利用
- < 交通機関 >
試合のチケットに公共交通機関の利用券を付ける
パークアンドライドによる公共交通機関の利用促進
- < 廃棄物 >
飲食物の容器代金を支払い、容器返却時に代金が返却されるデポジット制を導入
スタジアムでのリユースカップの利用

排出量の見積り

削減することができず、排出されることとなるCO₂を10万トンと計算

CO₂の削減活動への投資

インド・南アフリカでバイオマスエネルギー事業)を行うことで10万トン分のCO₂排出をオフセット

平成20年度予算事業の概要

〔カーボン・オフセットの実施手法に関する調査〕

- ・公募によりモデル事業を選定(会議、コンサートなど)
- ・カーボン・オフセットの事業スキームの構築に当たっての問題点を整理

〔カーボン・オフセットモデル事業スキーム検討調査の実施〕

- ・排出量のモニタリング・算定・検証基準の検討
- ・自主認証削減量の認証基準の検討